(第三号)　(明治卅二年五月九日第三種郵便物認可)　昭和十六年三月十日(月)　臺灣日日新報　第一万四千七百三十六號　(一)

臺灣新報

本日頁數四頁　作訪口位ヘ人生活資料　地番二州目刀町新宿五七番　電話四日番　五一七番
西東菊王之主

大戰果・目的を達成
悠々我が部隊撤去
南支軍凱歌奏し集結

【重慶九日發同盟】今次四南支那出征作戦に於ける我が兵団は完全に所期の目的を達成したので南支派遣軍總司令官は九日〇時附左の如く軍令を発した

【南支軍發表】
一、今次我が軍が出征し南寧を始め昆侖關、龍州、鎮南關、欽州、廉州、北海地区に亘る敵の要衝を攻略し敵軍に多大の損害を與へ我が軍の威武を中外に宣揚し皇軍の真價を發揮したるは全く聖上陛下の御稜威と上官の指導宜しきを得たるに因るものにして將兵一同感激に堪へず
二、今朝來我が飛行隊の偵察に依れば南方面の敵は遠く我方に進退せしめられつゝあり

一兵の敵影もなし

【重慶九日發同盟】南支那派遣軍三月九日午前十一時發表
一、當軍は龍州を中心として各地に分散せる敵殘敵を掃蕩し之を殲滅せんとし目下作戦中なり
二、今朝來我が飛行隊の偵察に據れば南方面の敵に依然遠く我方に進退しありて當面敵に一兵の敵影をも認めず

武寧附近第一線整理

【CC基地九日發同盟】中支那派遣軍報道部發表
【重慶九日發同盟】中支戰線に於ける我が軍は武寧附近第一線の整理を終り三月九日午前十時一齊に武寧西方の陣地に轉進せり

泰側回訓先づ到着す
今や完全妥結の段階

【東京九日發同盟】タイ、佛印紛爭に關する泰側の對案は多少の折衝を經て泰側の提案通り纏まる模様であるが泰側は佛印の一部に對しても若干の領土的野心を有しているとの觀測が一般的であり從つて泰側の對案が佛印に對し如何なる程度まで要求を容れるかは今後の問題

(二)　昭和十六年三月十日(月曜日)　臺灣日日新報　第一万四千七百二十六號　(第三種郵便物認可)

社說

東亞への侵略勢力の一掃
卅六回陸軍記念日を迎へて

一

"新秩序"の下に新しい世界を産み出すべく自ら神聞の負を負ひを擔しつつある間、我國においては本日卅六回目の陸軍記念日を迎へ、厚き感謝と尊敬とを捧ぐるを禁じ得ない。支那事變は、東亞に於ける國に不幸なる出來事であつて勿論すべて五星霜を經、現在の大局であると相違ない。然しながら今次の事變は日支兩國にとつては勿論のこと、東亞の將來の興亡に關する重大なる意義を有つものである。この意味から今次の事變は、東亞に於ける國民をして眞の自覺に目醒めしめ、東亞の新秩序建設の爲に邁進せしめる爲の神の攝理であつて、從來の東亞の秩序を根本的に改造し、東亞の新秩序を建設する

昭和十六年三月十日（月曜日）　臺灣日日新報　第一万四千七百二十六號　（三）

空陸に軍國繙卷
けふぞ輝く陸軍記念日

けふぞ輝く陸軍記念日、大捷と感激して、敵膽寒からん、一億一心、國に長城、陸に海に築き上げた日露戰の戰勝を祝福する陸軍記念日が來た、大會場の思ひ出がくりかへされる、三十六度めぐり來つたのである、南方第一線たる本島でも盛大に擧行される

けふ晴の社頭對面
感激の未亡人續々入京

【東京九日發同盟】靖國さらさらの參拜に十日靖國の社頭で晴れの對面をする戰死者十二人の遺族、臺灣からは川上所長、參與陳金德に引率され九日午後四時五分發の特別急行列車で入京した、つづいて第一線で軍人軍屬諸君の本島に於ける活躍ぶりを聞くため、十日は何れも元氣で靖國の社頭へ

上村少將赴任
大きな足跡殘して離臺

【臺中電話】陸軍少將上村周藏氏は八日臺北に赴任の途次、九日午後四時半臺中驛發の列車で來臺、同氏は臺中聯隊長として、將兵の信望を集めてゐたが、今回は本島防衛の重責に參與する大きな足跡を殘せた（寫眞は臺北驛にて）

名殘りの乾杯
高千穗丸出帆

【基隆電話】陸軍省指定の上村周藏氏は九日午後三時基隆出帆の高千穗丸で赴任の途に就いたが、同氏の送別會は同日午後一時から基隆の某料亭で開かれ、軍官民多數の見送りある中を、同氏は最後まで名殘りの乾杯を交した

德王一行動靜
【宇治山田九日發同盟】紀元二六〇〇年の佳節を迎へ、日本國民と共に慶祝の意を表すべく來朝中の蒙古德王一行は、九日午後二時二十分伊勢神宮參拜の途に就いた

慰問袋相談所賑ふ
きのふ一日で八百個

九日の臺北陸軍慰問袋相談所には、朝から申込みが殺到したが、午後四時の締切までに八百個の申込があつた、同所では十日午後一時から臺北市大和町一ノ五一臺北陸軍倉庫内で受付を開始するが、申込者は各自慰問袋を持參の事

悠々一億圓突破
功勞者、優良組合を表彰

【東京九日發同盟】大東亞戰爭第二年目の今日、一億國民貯蓄總動員の第一日を迎へ、貯蓄目標額一億圓は悠々突破、午後一時現在の貯蓄額は一億一千萬圓に達した、大藏省では貯蓄增强の功勞者、優良組合を表彰することとなつた

國民貯蓄
臺灣總督府（一千五年度一億圓貯蓄）

戰線偲び襟正す
恤兵展の描く戰時風景

戰死者の遺族五百の九日——その夫や子の戰死を聽かされた遺族にとつてはこの日ほど悲しくも嬉しい日はなかつた、午後二時四十分靖國神社參拜の途に就いた遺族たちは、いづれも感激に胸をふくらませ、神門前で一人一人記念撮影をしてもらつた、午後三時四十分靖國神社下、警察の護衛を受けて一行は宿舍に向ふ

國境巡廻競走
京町青年團で傳令訓練

臺北市新興町靑年團では昨年六月十日以來、國境巡廻競走を實施してゐるが、これまでの參加者は延べ二百名に達し、この競走は國境警備の傳令訓練として、また靑年團員の體力鍛鍊として、非常な效果を擧げてゐるので、當局では今後も引續き實施することとなつた、この競走は臺北州下各靑年團の團員が、十六名宛一組となつて、臺北市を中心として、基隆、瑞芳、宜蘭、羅東、蘇澳、新竹、桃園、大溪、大稻埕、士林、北投、淡水、新莊、三重埔、板橋、海山郡、七星郡、新店、深坑、石碇、文山郡の各地を經由して、臺北市役所に歸着するまで、晝夜兼行で走破するもので、各地點では、それぞれ地方靑年團員が待ち受けて、次の地點まで傳令を引繼ぐことになつてゐる、なほ今回は第一回競走として、臺北市役所を出發點

けふ聖戰下の陸軍記念日

時艱克服市民大會

【花蓮港電話】十日の陸軍記念日に當り花蓮港廳では、時艱に即應して擧國一體の實を擧げんがため、午前十時から花蓮港公園で時艱克服の市民大會を開催した

戰歿者慰靈祭

更に合同武道大會

【屏東電話】屏東市では十日の陸軍記念日に當り午前十時から公園内に於て戰歿者慰靈祭を擧行し、更に午後一時より同所に於て在鄕軍人、靑年團、各同武道團體の大會を開催する

百萬の高雄市建設

十數年後には實現

赤堀知事計畫を語る

【高雄電話】高雄市の發展の躍進と共に、從來の市域が狹隘となり、都市經營上種々支障を來すに至つたので、市當局では十數年後の人口百萬を目標として大高雄市建設の計畫を樹てつゝあるが、この實現が世上にクローズアップされたので百萬高雄市建設とは如何なる計畫に依るものであるか、就任早々の赤堀知事は、人口百萬の根據ライン竝びに施設等の概要を次の如く語つた

【高雄電話】日本基督教振興會第十三回小倉會長會議の際西大路院總理部會計二氏は十日午後五時五分高雄驛着列車にて來高、八日午前中市内を視察して同日午後一時十八分發列車で屏東に向つたが市内視察中の同氏は從來の工業施設に對して左の如く語つた

私は工業政策を根本的に改變しなければ到底この發展は望まれないと思ふ、即ち從來の工業施設は殆んど高雄港を中心として發展して來たのであるが、今後は高雄港の外に、例へば岡山、鳳山、屏東等の地方に工業地帶を設定し、之等の地方に適當なる工業を分散して行くことが必要だ、次に高雄港をローカル味豊かな國際港として發展せしめ、又高雄市を國際的觀光都市として發展せしめる爲には、高雄港の風景美を破壞しない樣に注意すると共に、高雄市の背後地の利用に依つて高雄港を擁護するの方策を講ずる必要がある

【高雄電話】高雄市で從來の都會計劃の部門に屬する臨海部、郡見町、鼓山、苓雅寮、前金、前鎭等の各地區を包含する平野地帶と雖も、現在の市域では餘りにも狹隘であるので、將來の發展を期待するの意味に於て、今回更に大正、小港、楠梓、仁武、大社、鳥松、大寮、林園、鳳山、岡山、阿蓮、路竹、湖內、茄萣、永安、彌陀、梓官、旗山、美濃、六龜、甲仙、杉林、內門、田寮、旗山、美濃、六龜、甲仙、杉林、內門、田寮、旗山、美濃、六龜、甲仙、杉林、內門、田寮